

火頭山田種

その9

彦春野田



初めに

種田山頭火の自由律俳句集『孤寒』より3句を選び、意味を追いながら英訳しました。
日本語表記は現代仮名遣いに直しています。
1 ページに1 句ずつ表示してあります。

種田山頭火について：
行乞しながら自由律俳句を作り続けた俳人です。
没年は昭和1 5 年です。

C G 画像について：
C G 画像（イラスト・レタリング）は3 枚あります。
制作には次の画像処理ソフトウェアを使用しました。
ArtRage 3 Studio Pro （アンビエント社）
Photoshop Elements 10 （アドビシステムズ株式会社）

参考文献について：
次の文献を参考にしました。
山頭火句集（ちくま文庫）
2 0 0 0 年6 月1 5 日 第5 刷発行
ジーニアス英和辞典〈改訂版〉2 色刷り（株式会社大修館書店）
1 9 9 4 年4 月1 日 改訂版初版発行
新コンサイス和英辞典〈革装〉第3 刷 （株式会社三省堂）
昭和5 0 年9 月1 5 日 第1 刷発行
Longman Dictionary of American English (Longman Inc.)
First printing 1983

製品名等はメーカー等の登録商標等です。
本書は著作権法により保護されています。

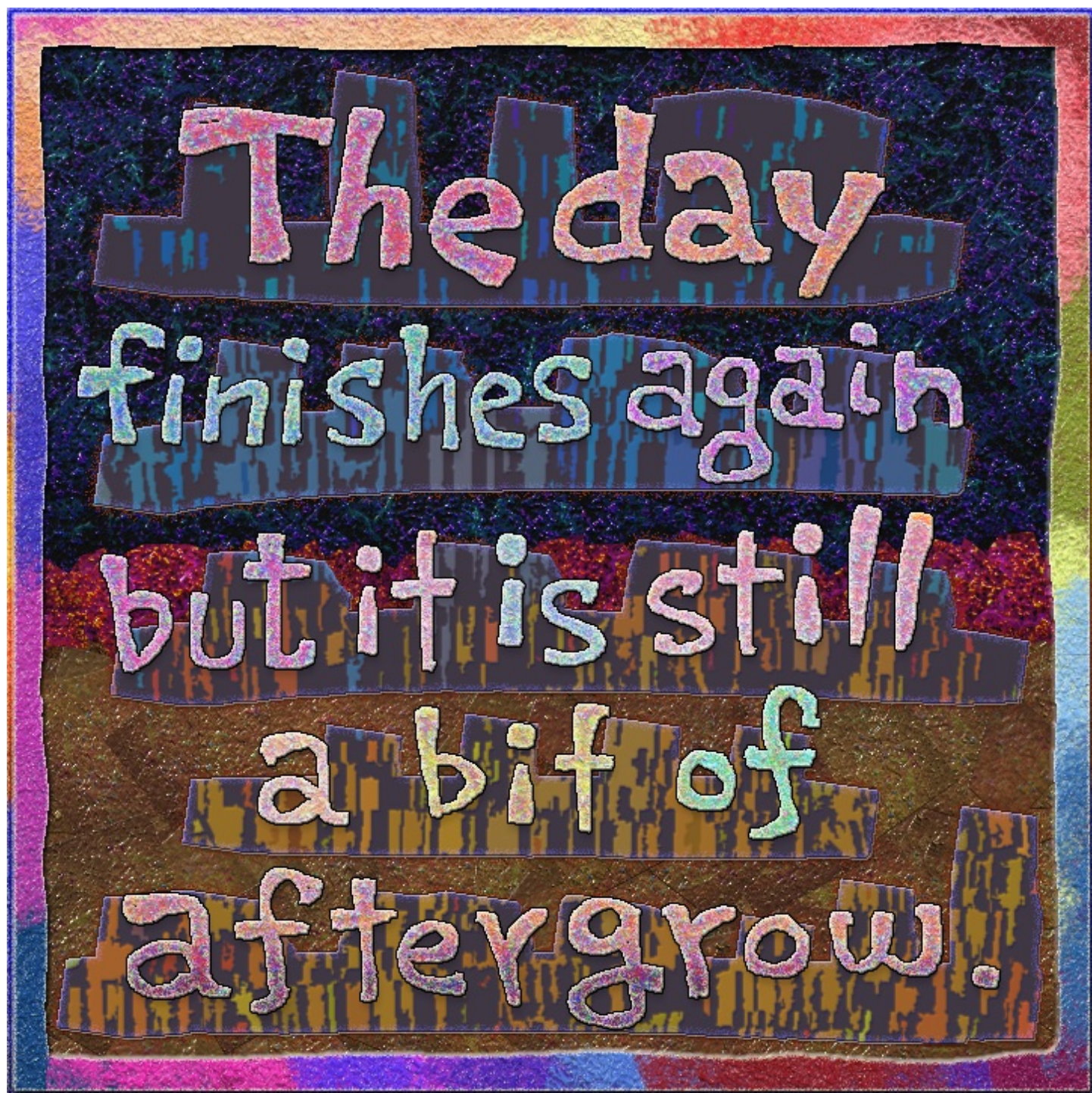
『孤寒』

"Loneliness and coldness"



がちやがちやがちやがちや鳴くよりほかない

Chirr, chirr, chirr, chirr. A cricket has no choice but to chirp.



また一日がおわるとしてすこし夕焼けて

The day finishes again but it is still a bit of aftergrow.



藪から鍋へ筍いっぽん

In a pot, I boil the whole of a bamboo shoot, which was reaped in a grove of bamboos.

終りに

著者について：

茜町春彦（あかねまちはるひこ）と申します。

２００４年より活動を始めたフリーランスのライター＆イラストレーターです。

作品が社会の進歩に多少なりとも寄与することを願いながら、日々制作を行なっています。

次回予定について：

絵本の制作の計画をしています。

（２０１３年　４月　茜町）

種田山頭火 その9 (孤寒より3句：イラスト・英訳)

<http://p.booklog.jp/book/70538>

著者：茜町春彦

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/akaneharu/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/70538>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/70538>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ